

ぽかぽか ドキュメンテーション

(1月園だより No.2)

日出みみょう保育園

新年明けましておめでとうございます。

今年も子どもたちのエピソードをぽかぽかドキュメンテーションで保護者の方にたくさん伝えていきたいと思っています。楽しみにしててくださいね。



公園で遊んでいた時のこと。

にじ組さんが縄跳びをする姿を、側でじっと見つめていたらいおんぐみさん。

すると、その姿に気がついた白組さんが

「やってみる？」と順番に入れてくれたのです。

待つ間も、「もう少しよ。」と優しく声をかけてくれ、ワクワクしながら順番を待っていました。

順番が来ると、お姉ちゃんと同じようにやりたいという思いからとびっきりのジャンプ！！

しかし、縄がひっかかって上手くいきません。

「もう1回」と何度も繰り返し挑戦していたのでした。

それからは、らいおんぐみさんに縄跳びブームがやってきます。

どうやったら跳べるの？あんな風に跳んでみたいという憧れから今もまだ盛り上がっています。

子どもたちは、いろんな人と出会い、関わる中で嬉しかったり、悔しかったり、また相手を思いやったりと様々な感情が生まれています。それは、一人では感じることはできず、相手がいるからこそ感じる感情です。公園でのエピソードの中にも、お姉ちゃんと同じようにやってみたいという憧れや、何だかうまくいかないなあという悔しさ、また白組さんの自分よりも小さな子を思いやる優しさに出会いました。こうした様々な感情を味わう経験こそが、これからたくさんの人と関わっていく力の基盤になっていくのです。今年のクリスマスに、幼稚園の子どもたちが、乳児園の子どもたちへとクリスマスプレゼントを持ってきてくれました。そこには、「赤ちゃんがなめても大丈夫なものにしたんだよ」と素材がクリアファイルになっており、赤ちゃんたちのことを思いながら作ってくれたんだなあと感じた素敵な瞬間でした。これからも、こうした異年齢の関わりの中で、共に育ちあう経験をたくさん味わいながら過ごしていきたいと思っています。

乳児園主任